

# 野党共闘前進



入管法改悪に反対して座り込む人たち。5月7日、衆院第2議員会館前（共産党ホームページより）

16日閉会した通常国会。野党共闘は着実に前進、コロナ対策や五輪開催問題などでの共産党の論戦の先駆性が光りました。

## 入管法改定廃案へ

スリランカ人女性が死亡したことで浮き彫りになった日本の入管行政の問題点。入管

法改定案は人権侵害を一層ひどくすることが明らかになり廃案に。検察庁法改定の廃案に続く世論と運動の勝利です。

## 3国政選で勝利

4月25日の北海道、長野、広島の補欠・再選挙で野党が全勝。力を合わせれば自民党

に勝てることを示しました。これを受けた共産・立民党首会談では「総選挙に向けた選挙協力の協議開始」で一致。

## 共産党 論戦リード

共産党はコロナ収束への積極的提案を行うとともに、五輪・パラ中止を今年1月の衆

院代表質問を皮切りに繰り返し主張。やがて国民の圧倒的多数の世論となり政府の五輪対応にも影響を与えています。

制度解説

衆院選挙  
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます  
小選挙区は「候補者の名前」で

比例代表は政党名で投票します。個人名は無効です。

折り目

# 野党結束 菅首相退陣求める

## 不信任つき付ける 自公維否決

共産、立民、国民、社民の4野党は15日、菅内閣不信任決議案を衆院に共同提出し、菅政権の退陣を求めました。共産党の志位和夫委員長は決議案への賛成討論を行い、不信任の4つの理由を示しました。決議案は自民、公明、維新の反対で否決されました。



賛成討論する志位和夫委員長 =15日、衆院本会議

### 志位氏が賛成討論

志位氏がのべた不信任の第1の理由は、新型コロナウイルス対応の失敗。今年に入って15日まで、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の期間は138日間で、実に83%の日々です。やるべきことを怠ってきた政治の責任、菅政権による人災です。

菅政権コロナ対応には「3つの致命的欠陥」があります。①科学にもとづく

## コロナ対応に失敗

コロナ「封じ込め」戦略がない②「GoTo事業」固執による感染拡大など多くの失敗から謙虚に学ばず次の対策に生かす姿勢がない③コロナ対応にまで「自己責任」論を持ち込んだことです。

志位氏は「コロナ収束のためには3つの致命的弱点を根本からたどすことが急務だ」と強調しました。（裏面に続く）

総選挙 日本共産党躍進を

近畿民報

2021年6月 No.2(第465号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。